

2020年4月●日

● ●市役所（町役場 村役場）
市長（町長 村長） ●●●●様

一般社団法人 大学女性協会
会 長 鷺見八重子
同奈良支部 支部長 中道 貞子

新型コロナウイルス感染症拡大防止策にともなう

ドメスティック・バイオレンス（DV）や虐待被害への対応を求める要望書

一般社団法人大学女性協会は昭和21年に創立され、高等教育を受けた女性たちがその学びを社会に還元するとの使命をもって、女性の高等教育の促進・ジェンダー平等の推進・国際協力と平和、を目指して活動を展開しています。現在は、「教育・ジェンダー・共生」のテーマのもとに、調査研究・シンポジウムその他の活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症が日々拡大するなか、防止策として外出制限が行われています。学校の休校や自宅でのテレワークなど、それぞれの家庭で不要不急の外出を控えることで、閉鎖的な空間で過ごすことが増えています。また、経済的不安や感染症への不安によるストレスも大きく増加していることが予想されます。そのような状況下で、ドメスティック・バイオレンス（DV）や虐待被害の報告や報道が増えており、深刻化が懸念されています。

貴自治体におかれましては、ドメスティック・バイオレンス（DV）や虐待の被害になお一層、迅速に対応いただけますよう、また、住民の皆様の意識を高めていただけますよう、以下のことを要望いたします。

1. 新型コロナウイルス感染症対策と連動し、貴ホームページ欄、貴自治体広報紙、SNSなどに、女性への暴力被害相談窓口や、支援センターの連絡先を掲載すること。

以上